

TDB 景気動向調査(全国) — 2021年7月調査 —

2021年8月4日
 株式会社帝国データバンク データソリューション企画部
<https://www.tdb.co.jp>
 景気動向オンライン <https://www.tdb-di.com>

製造業がけん引し、2カ月連続で改善

～ 今後の景気はワクチン接種の普及が好材料の一方、新規感染者数の増加は懸念材料 ～

(調査対象 2万4,285社、有効回答 1万992社、回答率 45.3%、調査開始 2002年5月)

調査結果のポイント

- 2021年7月の景気DIは前月比1.6ポイント増の40.7となり、2カ月連続で改善した。国内景気は、新規感染者数の増加が続いたものの製造業がけん引し、回復傾向が続いた。今後は、感染拡大防止と経済活性化を見極めつつ、回復傾向で推移すると見込まれる。
- 10業界中8業界が改善。海外経済の回復で半導体関連や自動車関連などを中心に輸出が増加傾向のなか、『製造』を中心に改善した。他方、仕入単価DIは62.2と14カ月連続で上昇し、木材や金属、燃料などの材料価格上昇が各業界で懸念材料となった。
- 『東北』『北関東』『東海』など全10地域が2カ月連続で改善した。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の影響が地域で分かれた。輸出増加の好影響を受けた業界が地域経済をけん引する形で、10地域中7地域で40台を回復した。規模別では「大企業」「中小企業」「小規模企業」が2カ月連続でそろって改善した。

＜2021年7月の動向：回復傾向＞

2021年7月の景気DIは前月比1.6ポイント増の40.7となり、2カ月連続で改善した。

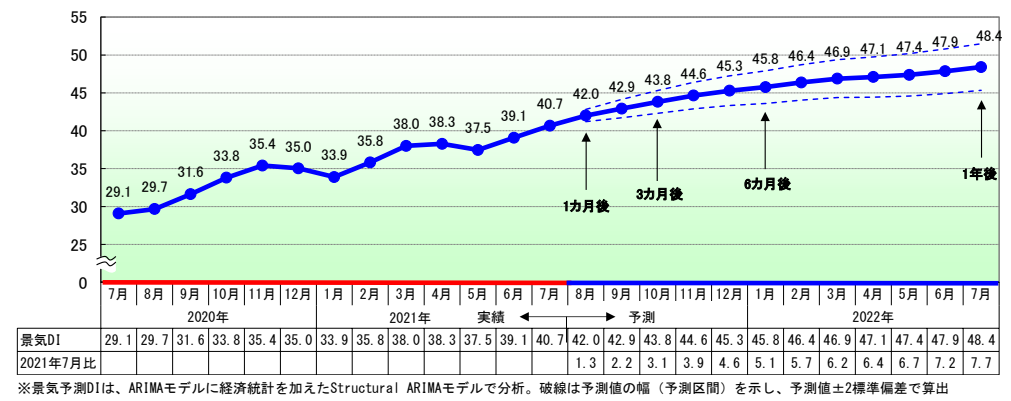
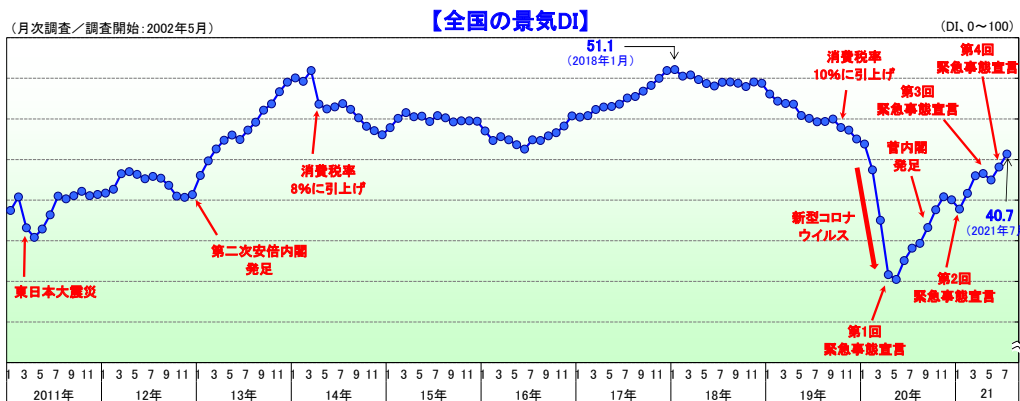
7月の国内景気は、東京五輪が開幕するなか、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の影響が地域で分かれる一方、ワクチン接種の普及などで経済活動が正常化に向かいながらの推移となった。海外経済の回復傾向で半導体や自動車関連などを中心に輸出が急増を続け、製造業が経済全体をけん引した。4連休などにより小売業や個人向けサービスの景況感を示す個人消費DIも上向いた。他方で、新規感染者数は増加傾向が続いた。また、木材や金属など材料価格の高騰で仕入価格の上昇が加速しており、厳しい収益環境が継続した。

国内景気は、新規感染者数の増加が続いたものの製造業がけん引し、回復傾向が続いた。

＜今後の見通し：回復傾向が続く＞

今後の国内景気は、ワクチン接種の普及にともない人の流れが徐々に活発化し、経済活動が緩やかに正常化に向かうとみられる。また、5Gの本格的普及や米国や中国など海外経済の回復などはプラス材料となる。さらに、自宅内消費の拡大による新たな需要の創出、テレワークなど通信インフラの整備、気候変動を含めSDGsに対応した投融资なども期待される。他方、新型コロナウイルス変異株の動向のほか、原材料など仕入価格の上昇、半導体不足などによる供給リスクの長期化、家計や企業の成長期待の低下などは懸念材料である。また、東京五輪の影響や業種・地域に対する経済の二極化は注視する必要がある。

今後は、感染拡大防止と経済活性化のバランスのなか、回復傾向で推移するとみられる。



業界別：『製造』を中心に8業界が改善も、仕入単価上昇の勢いが強まる

・10業界中8業界が改善。海外経済の回復で半導体関連や自動車関連などを中心に輸出が増加傾向のなか、『製造』を中心に改善した。他方、仕入単価DIは62.2と14カ月連続で上昇し、木材や金属、燃料などの材料価格上昇が各業界で懸念材料となった。

・『製造』(42.7) …前月比2.1ポイント増。全12業種が2カ月連続で改善した。米国や中国など海外経済の回復で輸出の増加傾向が続くなか、自動車部品などの「輸送用器具・機械製造」(同3.5ポイント増)が50を上回った。また、旺盛な半導体需要を背景に、「機械製造」(同2.2ポイント増)や「化学品製造」(同1.8ポイント増)なども改善した。一方、「出版・印刷」(同0.3ポイント増)や「繊維・繊維製品・服飾品製造」(同1.7ポイント増)は持ち直しの動きが弱く、『製造』内で景況感の水準にはバラツキがみられる。さらに、『製造』の仕入単価DIは65.0(同1.9ポイント増)と11カ月連続で上昇しており、木材や金属など材料価格の上昇はその勢いがより強まった。

・『サービス』(41.5) …同1.8ポイント増。2カ月連続で改善し、2020年2月以来1年5カ月ぶりに40を上回った。製造業向けの引き合いが強まった「人材派遣・紹介」(同5.7ポイント増)や、土木建築サービスや経営コンサルなどの「専門サービス」(同3.9ポイント増)、アウトドア需要の高まりでゴルフ場が活況な「娯楽サービス」(同5.6ポイント増)が大きく改善した。他方、依然として緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が発出されるなか、「飲食店」(同0.8ポイント減)は2カ月ぶりに悪化。また、「旅館・ホテル」(同1.4ポイント増)は8カ月連続で51業種中最も低い水準となり、厳しい状況が続いている。

・『建設』(42.7) …同1.1ポイント増。2カ月連続で改善。2020年からの反動増もあり、新設住宅着工戸数が回復傾向にあるなか、建築工事や一般電気工事などが改善した。また、国土強靱化などで公共工事でも底堅い動きとなり、土木関連も堅調に推移した。一方、木材や鋼材などの建材価格が上昇するなか、『建設』の仕入単価DIは64.1(同0.7ポイント増)と8カ月連続で上昇。さらに、雇用過不足DI(正社員)は61.4(同0.5ポイント増)と10業界で唯一60を上回り、人手不足感が再び高まっている。

・『小売』(35.4) …同0.9ポイント増。2カ月連続で改善。人出が戻りつつあるなか、「家電・情報機器小売」(同1.9ポイント増)や「飲食料点小売」(同2.6ポイント増)など9業種中6業種がプラス。他方、半導体不足により自動車などの商品の入荷が滞っている「自動車・同部品小売」(同0.2ポイント減)は4カ月ぶりに悪化。また、木材などの価格高騰により「家具類小売」(同2.9ポイント減)も3カ月連続で悪化した。新型コロナウイルスの感染が再び拡大するなか、『小売』は『その他』を除く9業界で最も低い水準となった。

	20年7月	8月	9月	10月	11月	12月	21年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	前月比	
農・林・水産	31.4	31.0	30.3	34.4	38.7	35.4	30.9	33.8	35.0	37.5	37.7	39.1	38.5	▲0.6	
金融	31.5	32.6	35.3	38.3	37.7	35.6	36.1	38.3	39.2	38.3	39.5	41.7	42.8	1.1	
建設	37.5	38.4	40.4	41.1	41.8	40.9	39.4	40.6	41.6	41.4	40.0	41.6	42.7	1.1	
不動産	32.5	33.1	35.6	36.4	36.8	36.4	35.5	38.3	40.6	40.8	39.4	40.9	41.8	0.9	
製造	飲食料品・飼料製造	29.6	30.5	32.0	34.2	36.0	32.5	30.7	30.8	34.4	35.2	33.6	34.0	35.5	1.5
	繊維・繊維製品・服飾品製造	19.8	20.3	23.5	24.7	26.8	26.1	24.5	26.0	26.8	28.7	29.2	29.3	31.0	1.7
	建材・家具・窯業・土石製品製造	28.3	29.8	31.3	35.1	35.4	36.0	37.3	37.2	37.8	39.3	38.6	40.1	42.5	2.4
	パルプ・紙・紙加工品製造	21.0	22.9	24.1	26.2	29.2	29.3	27.6	29.4	33.0	34.3	33.5	34.9	37.2	2.3
	出版・印刷	15.8	18.8	20.4	21.9	22.7	21.8	20.2	22.2	26.0	27.2	24.2	27.1	27.4	0.3
	化学品製造	27.3	27.8	31.1	34.4	37.7	39.3	38.0	40.9	43.3	44.2	44.3	44.5	46.3	1.8
	鉄鋼・非鉄・鉱業	22.3	23.6	25.4	29.2	33.1	34.3	33.9	37.0	39.3	40.5	39.9	43.4	46.4	3.0
	機械製造	24.6	25.0	26.5	29.1	31.7	33.5	33.6	36.9	41.2	42.1	42.2	43.7	45.9	2.2
	電気機械製造	27.5	27.7	28.9	33.0	34.8	35.5	36.1	39.6	42.6	43.2	42.8	45.0	46.8	1.8
	輸送用機械・器具製造	21.2	24.2	27.8	34.9	36.3	40.1	40.1	40.3	45.3	45.2	45.3	47.1	50.6	3.5
	精密機械・医療機械・器具製造	28.1	29.6	30.2	32.7	35.5	37.1	37.9	42.4	44.6	45.6	48.7	49.1	50.5	1.4
	その他製造	25.2	22.8	26.3	29.0	29.6	31.9	31.5	31.4	34.1	35.3	33.0	34.1	37.6	3.5
	全体	24.9	25.9	27.8	31.0	33.3	33.9	33.4	35.6	38.5	39.5	39.0	40.6	42.7	2.1
	卸売	飲食料品卸売	27.3	27.2	30.2	32.0	31.6	29.5	26.8	29.2	30.7	30.1	29.4	30.7	31.3
繊維・繊維製品・服飾品卸売		18.2	18.0	19.4	22.6	22.3	22.7	21.2	19.8	23.9	23.1	21.7	22.5	22.8	0.3
建材・家具・窯業・土石製品卸売		30.2	30.4	31.7	33.9	35.9	36.1	34.7	34.8	36.7	37.2	36.5	36.3	37.8	1.5
紙類・文具・書籍卸売		21.9	23.2	24.0	26.9	26.7	28.3	26.3	29.3	32.2	32.4	30.6	31.4	31.2	▲0.2
化学品卸売		29.2	29.5	30.1	32.3	36.1	35.7	34.3	37.7	39.1	40.9	40.7	42.0	42.4	0.4
再生資源卸売		24.5	27.8	30.2	32.9	38.7	44.4	45.6	42.4	45.4	55.1	53.4	52.0	53.7	1.7
鉄鋼・非鉄・鉱業製品卸売		24.5	25.3	26.4	30.5	32.1	34.0	32.6	33.4	36.0	37.2	37.5	38.7	41.1	2.4
機械・器具卸売		29.0	28.6	30.6	33.1	34.6	34.4	34.6	36.7	39.5	40.1	39.0	40.7	43.1	2.4
その他の卸売		25.1	25.4	27.6	30.6	33.0	31.6	29.0	31.3	34.4	34.1	32.2	35.5	36.6	1.1
全体		27.0	27.1	28.9	31.5	33.0	32.8	31.6	33.3	35.8	36.2	35.3	36.8	38.3	1.5
小売	飲食料点小売	30.7	29.1	34.0	38.8	37.0	34.6	33.8	33.1	34.1	32.8	32.6	34.9	37.5	2.6
	繊維・繊維製品・服飾品小売	24.7	24.0	19.9	27.8	23.7	22.0	22.7	21.4	23.3	25.0	21.2	20.3	25.0	4.7
	医薬品・日用雑貨品小売	32.7	31.3	32.6	33.3	29.8	31.3	30.2	32.5	31.1	35.8	29.3	31.4	32.5	1.1
	家具類小売	40.0	38.9	38.5	37.5	38.9	35.4	34.4	36.7	38.9	42.7	40.6	39.8	36.9	▲2.9
	家電・情報機器小売	29.8	30.5	30.6	34.2	33.3	29.5	28.3	36.3	34.4	37.8	30.8	35.8	37.7	1.9
	自動車・同部品小売	29.3	29.3	32.4	34.6	40.2	37.2	35.7	37.6	37.0	38.3	38.6	40.7	40.5	▲0.2
	専門商品小売	30.2	30.0	31.6	33.9	33.3	34.7	32.6	35.5	35.9	34.6	34.5	34.8	34.3	▲0.5
	各種商品小売	40.9	36.9	37.0	37.6	37.3	39.2	38.7	36.2	37.3	32.2	31.1	33.0	35.6	2.6
	その他の小売	26.7	25.9	33.3	33.3	34.8	33.3	30.3	33.3	35.0	40.5	25.0	33.3	35.7	2.4
	全体	31.0	30.3	32.1	34.8	35.0	34.2	32.9	34.5	34.9	34.7	33.1	34.5	35.4	0.9
	運輸・倉庫	24.2	25.4	28.1	30.1	32.5	31.5	30.0	31.7	33.9	34.5	33.7	34.5	36.3	1.8
サービス	飲食店	13.7	12.7	14.5	18.2	21.0	15.3	10.3	12.8	18.9	14.9	13.0	20.5	19.7	▲0.8
	電気通信	41.7	42.6	46.7	41.7	47.2	38.9	46.3	38.1	43.8	38.9	40.5	27.8	42.9	15.1
	電気・ガス・水道・熱供給	34.9	42.5	42.5	40.4	40.0	38.6	42.5	39.5	47.1	40.4	41.2	45.0	40.8	▲4.2
	リース・貸貸	31.4	32.7	34.5	34.9	37.5	36.2	33.5	32.8	35.0	35.4	35.0	38.1	41.0	2.9
	旅館・ホテル	5.1	6.0	12.4	27.2	28.8	11.9	3.4	4.4	10.9	8.6	5.6	11.6	13.0	1.4
	娯楽サービス	17.5	22.9	22.4	23.7	29.0	27.0	24.0	25.8	33.1	25.8	29.5	29.2	34.8	5.6
	放送	25.6	34.5	33.3	34.4	38.6	42.2	36.3	42.6	51.0	42.7	42.7	42.2	42.2	0.0
	メンテナンス・警備・検査	33.2	34.1	36.5	38.5	38.5	38.6	36.3	37.5	40.4	39.2	40.8	42.7	41.9	▲0.8
	広告関連	19.0	18.0	20.4	21.1	22.3	22.5	20.2	24.7	26.5	25.6	23.4	27.5	27.5	0.0
	情報サービス	37.2	37.9	38.9	40.1	41.6	41.2	41.3	43.6	45.5	45.2	44.9	46.8	48.2	1.4
	人材派遣・紹介	24.6	25.4	26.7	29.2	34.3	31.5	31.6	33.6	34.1	35.8	35.5	36.2	41.9	5.7
	専門サービス	36.7	36.1	40.0	40.7	42.5	41.0	38.8	42.9	43.6	43.5	41.5	43.4	47.3	3.9
	医療・福祉・保健衛生	29.9	31.0	31.4	33.6	34.9	34.8	32.7	34.7	37.1	39.1	39.2	41.2	42.1	0.9
	教育サービス	29.5	31.7	34.0	34.7	34.0	34.0	33.3	34.0	32.1	35.7	37.1	38.7	40.3	1.6
その他サービス	28.7	28.4	31.1	31.6	31.4	32.6	30.9	34.2	34.5	34.8	35.2	35.8	37.4	1.6	
全体	31.2	31.8	33.9	35.1	36.8	35.7	33.9	36.5	38.5	37.9	37.5	39.7	41.5	1.8	
その他	29.3	28.8	31.5	28.2	29.4	30.8	29.5	30.5	34.4	34.1	33.3	35.6	34.7	▲0.8	
格差(10業界別『その他』除く)	13.3	13.0	12.6	11.0	9.3	9.4	9.4	8.9	7.7	6.9	6.9	7.2	7.4		

※網掛けなしは前月比改善または増加、黄色の網掛けは前月比横ばい、青色の網掛けは前月比悪化または減少を示す

規模別:全規模が2カ月連続でそろって改善、設備投資の積極化が好材料に

- ・「大企業」「中小企業」「小規模企業」が2カ月連続でそろって改善した。新型コロナウイルスの影響が続くなか、各規模で自動車関連やソフト開発、住宅建設などが上向いた。
- ・「大企業」(42.9) …前月比1.0ポイント増。2カ月連続で改善。鶏卵価格の上昇など畜産農業が上向いた『農・林・水産』が大きく改善した。また、住宅ニーズの高まりが続いたほか、『製造』『サービス』は6カ月連続で改善となった。
- ・「中小企業」(40.2) …同1.7ポイント増。2カ月連続で改善、2020年1月以来1年6カ月ぶりに40台を回復した。自動車関連などの設備投資意欲が高まってきたなかで、輸送用機械部品メーカーの景況感が大幅に改善、2年5カ月ぶりに50を上回った。
- ・「小規模企業」(38.4) …同1.3ポイント増。2カ月連続で改善。企業の予算執行が堅調なかでソフト開発などの「情報サービス」関連の景況感が改善したほか、工場の設備投資などの回復で建築工事を中心に建設関連も上向き傾向が続いた。

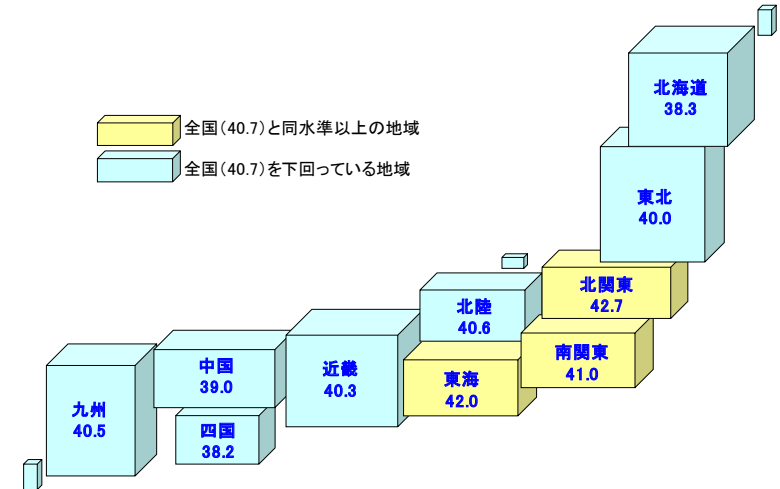
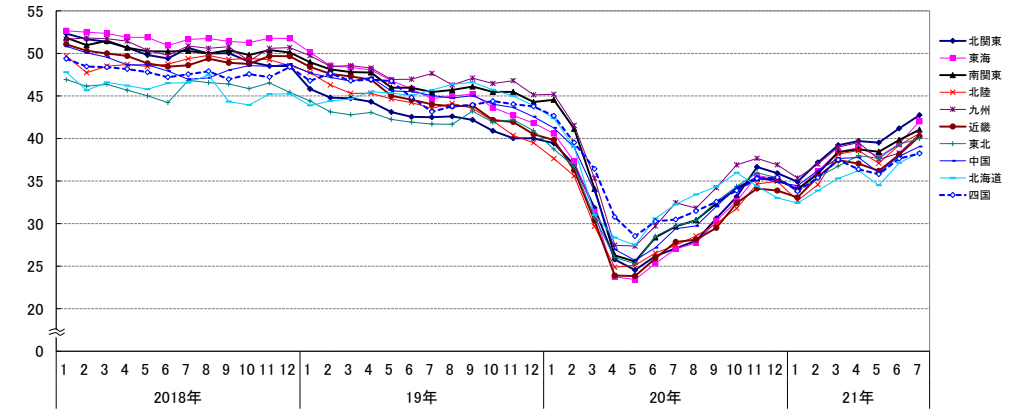
	20年7月	8月	9月	10月	11月	12月	21年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	前月比
大企業	31.7	32.4	33.9	36.4	37.6	37.4	36.3	38.2	40.2	40.8	40.2	41.9	42.9	1.0
中小企業	28.5	29.1	31.1	33.3	34.9	34.5	33.4	35.3	37.5	37.7	36.9	38.5	40.2	1.7
(うち小規模企業)	29.4	30.0	32.0	33.9	35.2	34.2	32.8	34.7	36.7	36.3	35.6	37.1	38.4	1.3
格差(大企業-中小企業)	3.2	3.3	2.8	3.1	2.7	2.9	2.9	2.9	2.7	3.1	3.3	3.4	2.7	

※網掛けなしは前月比改善または増加、黄色の網掛けは前月比横ばい、青色の網掛けは前月比悪化または減少を示す

地域別:全10地域が2カ月連続で改善、輸出関連業界が地域経済をけん引

- ・『東北』『北関東』『東海』など全10地域が2カ月連続で改善した。新型コロナウイルスの感染状況により緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の影響が地域で分かれた。輸出増加の好影響を受けた業界が地域経済をけん引する形で、10地域中7地域で40台を回復した。
- ・『東北』(40.0) …前月比0.7ポイント増。2カ月連続で改善、1年7カ月ぶりに40台に復帰した。鶏卵の価格上昇やウッドショックにともなう国産材への需要増などがプラス材料となった。一方で、燃料価格の高騰や夏季イベントの縮小などは下押し要因だった。
- ・『北関東』(42.7) …同1.5ポイント増。2カ月連続で改善、6カ月連続で10地域中トップとなった。設備稼働率DIと設備投資意欲DIが10地域で最も高くなるなど、工作機械といった機械製造や半導体関連が好調に推移した。「長野」は4カ月連続で全国1位を維持。
- ・『東海』(42.0) …同2.6ポイント増。2カ月連続で改善、1年6カ月ぶりに40台に復帰した。輸出が増加するなかで自動車関連の好調な推移が続いた。また、中小企業が大きく改善したことから規模間格差は0.6ポイントに縮小した。

地域別グラフ(2018年1月からの月別推移)



	20年7月	8月	9月	10月	11月	12月	21年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	前月比
北海道	32.3	33.4	34.4	36.0	34.4	33.0	32.4	33.9	35.3	36.2	34.5	37.1	38.3	1.2
東北	29.7	30.4	32.6	34.4	36.0	35.4	33.8	35.4	36.8	38.0	37.7	39.3	40.0	0.7
北関東	27.1	28.0	30.6	33.2	36.6	35.9	34.9	37.2	39.2	39.7	39.5	41.2	42.7	1.5
南関東	29.7	30.4	32.3	34.2	35.3	35.2	34.0	35.9	38.4	38.7	38.4	39.8	41.0	1.2
北陸	27.5	28.5	30.0	31.8	34.7	35.0	32.7	34.6	38.2	38.6	37.1	39.2	40.6	1.4
東海	27.0	27.7	30.3	32.6	35.6	35.3	34.1	36.1	38.4	38.9	37.9	39.4	42.0	2.6
近畿	27.8	28.1	29.5	32.4	34.1	33.9	33.1	35.5	37.4	37.0	36.2	38.1	40.3	2.2
中国	29.4	29.7	32.0	34.3	35.5	34.8	34.5	36.2	37.7	37.8	36.0	37.9	39.0	1.1
四国	30.5	31.5	32.6	33.9	35.3	35.4	33.8	35.4	37.5	36.4	35.8	37.6	38.2	0.6
九州	32.5	31.8	34.2	36.9	37.7	36.9	35.3	37.0	39.0	39.5	37.5	38.3	40.5	2.2
格差	5.5	5.7	4.9	5.1	3.6	3.9	2.9	3.3	3.9	3.5	5.0	4.1	4.5	

※網掛けなしは前月比改善または増加、黄色の網掛けは前月比横ばい、青色の網掛けは前月比悪化または減少を示す

業界別の景況感企業の声1(農・林・水産～製造)

業界名	現在			先行き
	5月	6月	7月	
農・林・水産	37.7 ↑	39.1 ↑	38.5 ↓	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海外からの木材輸入がもとに戻る気配が今のところ無い。そのため国産材の需要増が続くとみている(森林組合) △ 景気動向が不透明で、選挙結果も影響する(釣・はえ縄漁業) × 鶏卵生産量が回復し価格が下がってくる。飼料価格が高騰しており、現在支払われている飼料補填金がなくなり価格高騰分が全てコスト増につながる(養鶏)
金融	39.5 ↑	41.7 ↑	42.8 ↑	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワクチン接種の進展により改善の方向に向かう。消費生活が徐々に戻っていく(消費者向け貸金) × 取引先の業種で新型コロナウイルスの影響が大きくなるとみっており、その煽りを受ける可能性がある(損害保険代理) × 新型コロナウイルスが収まる気配が無く、引き続き消費は厳しい(投資業)
建設	40.0 ↓	41.6 ↑	42.7 ↑	<ul style="list-style-type: none"> ○ 携帯キャリア各社が5G構築に向けて本格的に動き出し、今後2～3年は携帯工事会社は忙しい状況が続く見込み(電気通信工事) ○ ウッドショックの影響が落ち着き木材価格が安定化すれば、価格転嫁もある程度進み受注や利益率の回復が見込める(土木工事) ○ 大阪万博もあり、建設に係る電気工事は引き続き良い(一般電気工事) × 仕入値が落ち着く気配がなく、しばらくは採算の合わない状況が続く(鉄骨工事) × 飲食店・ホテルなどへの新型コロナウイルスの影響が大きく、ワクチン接種が進んでもすぐには新規出店やリニューアルの工事は動かない(内装工事) × 新型コロナウイルスの関係で国をはじめ市町村の財政がひっ迫し、工事の予算が減少すると見込まれる(機械器具設置工事)
不動産	39.4 ↓	40.9 ↑	41.8 ↑	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住宅ニーズが高い(建物売買) ○ 周辺地域で大型施設の建設ラッシュが始まる(貸事務所) ○ 在宅勤務の影響で都内から郊外へ移住者が増えている(不動産代理・仲介) × 東京都心部はテレワークで貸事務所の解約が相次いでいる。繁華街の飲食店舗の業況も悪く、解約があると次のテナントが入らない(不動産管理) × 貸室稼働率が2019年度に比べて上がってこない(不動産賃貸)
製造	39.0 ↓	40.6 ↑	42.7 ↑	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新製品の立ち上がりが続く、当面は不安な状況(自動車部品・付属品製造) ○ 電子部品のメーカーからは、供給面は2～3カ月後に正常に戻るとの回答が来ている(プリント回路製造) ○ ワクチンの普及率の上昇により設備投資欲などが改善する。目途が立つ年末にかけてその動きが活発化する(金属プレス製品製造) △ 現状は需要を先食いしている感じがある。素材価格の急騰の悪影響も心配(鉄鋼シャースリット) × 在庫がなくなり、高値で材を確保しなければならない(合板製造) × 原料や人件費、また各種保険や包装容器リサイクル料などその他のコストが増える(ビスケット類・干菓子製造) × 化粧品需要は当分の間、回復が見込まれない(仕上用・皮膚用化粧品製造)

【判断理由】○=良いと判断した理由△=どちらでもない理由×=悪いと判断した理由

業界別の景況感企業の声2(卸売～サービス)

業界名	現在			先行き
	5月	6月	7月	
卸売	35.3 ↓	36.8 ↑	38.3 ↑	<ul style="list-style-type: none"> ○ 足元の需要が増加しつつあり、市況が好転している(鉄鋼卸売) ○ 世界規模の半導体需要増により生産設備への投資が旺盛(電気機械器具卸売) ○ 中古機を中心に受注量が増加、地域経済に動きがある。今後に対応するための備えて買い替えや増車の需要が強い(建設機械・鉱山機械卸売) ○ アジア全域でスクラップなど資源価格が高騰している(鉄スクラップ卸売) × 地域のお祭、花火大会、大通公園のピヤガーデンなど人の集まるイベントが全て中止になり、浴衣関連の販売が絶不調(織物卸売) × 販売価格が下落するなか木材・鉄の値上げが続き収益が悪化(家具・建具卸売) × 飲食店の営業自粛要請にともない、大幅受注減が継続している(酒類卸売)
小売	33.1 ↓	34.5 ↑	35.4 ↑	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巣ごもり需要により、持ち帰り商品の売り上げが増加している(菓子小売) ○ 製紙業を中心とした地域で新型コロナウイルス関連の必需品の売り上げが好調であり、やや良好(燃料小売) △ 新車、中古車の販売が回復傾向だが、新車の入荷遅れにより、売り上げにつながらない(自動車(新車)小売) × 引き続き新型コロナウイルスの影響があり、個人消費に悪影響を与えている(時計・眼鏡・光学機械小売) × 原油価格の高騰による価格の上昇が、消費者の購買意欲の減退に繋がっている(ガソリンスタンド)
運輸・倉庫	33.7 ↓	34.5 ↑	36.3 ↑	<ul style="list-style-type: none"> ○ 足元では中国向け製造設備関連の輸出が復調傾向である(沿海貨物海運) ○ 主要顧客とする自動車・素材関連メーカーが全体的に好調。また、国際部門が大きく売り上げを伸ばしており、業績を押し上げている(普通倉庫) △ 常に忙しく景況感は悪くないが、半導体不足の影響がでてきている(港湾運送) × 半導体の供給不足による取引先の減産傾向がしばらく続く(こん包) × 新型コロナウイルスの影響もあるが、東京五輪・パラリンピック開催の影響で流通に影響が出ている(一般貨物自動車運送) × 新型コロナウイルスが収束しなければ旅行業は厳しい(旅行代理店) × 東京五輪も無観客では効果があり期待できない(一般乗用旅客自動車運送)
サービス	37.5 ↓	39.7 ↑	41.5 ↑	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東京五輪の仮設エアコンレンタル、ワクチン接種会場のエアコンレンタルを数多く受注している(産業用機械器具賃貸) ○ 公共事業の発注が好調で受注が順調に推移している(土木建築サービス) ○ 屋外スポーツであるゴルフは、影響を受けにくい(ゴルフ場) ○ 自動車メーカーや関連会社の受注が多い(労働者派遣) × ホテルの平均稼働率は20%～30%と低く、合わせて単価も低いいため、ビジネスモデルが成り立たない状況が続いている(旅館) × 緊急事態宣言の影響が薄れているとの報道もあるが、2020年より売り上げが低迷している店舗もあり経営環境は良くない(西洋料理店) × 旅行、観光、イベント関連は未だ壊滅状態(広告代理店)

【判断理由】○=良いと判断した理由 △=どちらでもない理由 ×=悪いと判断した理由

調査先企業の属性

1. 調査対象(2万4,285社、有効回答企業1万992社、回答率45.3%)

(1) 地域

北海道	519	東海(岐阜 静岡 愛知 三重)	1,319
東北(青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島)	682	近畿(滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山)	1,781
北関東(茨城 栃木 群馬 山梨 長野)	809	中国(鳥取 島根 岡山 広島 山口)	662
南関東(埼玉 千葉 東京 神奈川)	3,310	四国(徳島 香川 愛媛 高知)	381
北陸(新潟 富山 石川 福井)	577	九州(福岡 佐賀 長崎 熊本 大分 宮崎 鹿児島 沖縄)	952
合計		10,992	

(2) 業界(10業界51業種)

農・林・水産	68	小売	飲食料点小売業	72
金融	114		繊維・繊維製品・服飾品小売業	40
建設	1,762		医薬品・日用雑貨品小売業	20
不動産	346		家具類小売業	14
製造	飲食料品・飼料製造業	367	家電・情報機器小売業	38
	繊維・繊維製品・服飾品製造業	113	自動車・同部品小売業	77
	建材・家具・窯業・土石製品製造業	230	専門商品小売業	158
	パルプ・紙・紙加工品製造業	99	各種商品小売業	44
	出版・印刷	174	その他の小売業	7
(3,013)	化学品製造業	419	運輸・倉庫	513
	鉄鋼・非鉄・鋳業	531	飲食店	55
	機械製造業	477	電気通信業	7
	電気機械製造業	328	電気・ガス・水道・熱供給業	20
	輸送用機械・器具製造業	112	リース・賃貸業	126
	精密機械・医療機械・器具製造業	74	旅館・ホテル	41
	その他製造業	89	娯楽サービス	68
	飲食料品卸売業	378	放送業	17
	繊維・繊維製品・服飾品卸売業	178	メンテナンス・警備・検査業	197
	建材・家具・窯業・土石製品卸売業	346	広告関連業	95
(2,864)	紙類・文具・書籍卸売業	100	情報サービス業	473
	化学品卸売業	275	人材派遣・紹介業	64
	再生資源卸売業	36	専門サービス業	287
	鉄鋼・非鉄・鋳業製品卸売業	302	医療・福祉・保健衛生業	116
	機械・器具卸売業	909	教育サービス業	36
	その他の卸売業	340	その他サービス業	191
	合計		10,992	

(3) 規模

大企業	1,839	16.7%
中小企業	9,153	83.3%
(うち小規模企業)	(3,216)	(29.3%)
合計	10,992	100.0%
(うち上場企業)	(248)	(2.3%)

2. 調査事項

- ・景況感(現在)および先行きに対する見通し
- ・経営状況(売り上げ、生産・出荷量、仕入れ単価・販売単価、在庫、設備稼働率、従業員数、時間外労働時間、雇用過不足、設備投資意欲)および金融機関の融資姿勢について

3. 調査時期・方法

2021年7月15日～7月31日(インターネット調査)

景気動向指数(景気DI)について

■TDB 景気動向調査の目的および調査項目

全国企業の景気判断を総合した指標。国内景気の実態把握を目的として、2002年5月から調査を開始。景気判断や企業収益、設備投資意欲、雇用環境など企業活動全般に関する項目について全国2万4千社以上を対象に実施している月次統計調査(ビジネス・サーベイ)である。

■調査先企業の選定

全国全業種、全規模を対象とし、調査協力の承諾が得られた企業を調査先としている。

■DI 算出方法

DI(ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index))は、企業による7段階の判断に、それぞれ以下の点数を与え、これらを各選択区分の回答数に乗じて算出している。

選択区分	非常に良い	良い	やや良い	どちらともいえない	やや悪い	悪い	非常に悪い
点数	6	5	4	3	2	1	0
各区分の回答数	N_6	N_5	N_4	N_3	N_2	N_1	N_0

$$\text{景気DI} = \frac{(\text{各区分点数} \times \text{各区分回答数}) \text{の合計}}{\text{有効回答数 } N} \times \frac{1}{6} \times 100 = \frac{\sum_{i=0}^6 i \times N_i}{N} \times \frac{1}{6} \times 100$$

景気DIは、50を境にそれより上であれば「良い」、下であれば「悪い」を意味し、**50が判断の分かれ目**となる(小数点第2位を四捨五入)。また、企業規模の大小に基づくウェイト付けは行っており、**「1社1票」**で算出している。

■企業規模区分

企業の多様性が増すなか、資本金や従業員数だけでは計りきれない実態の把握を目的に中小企業基本法に準拠し、全国売上高ランキングデータを加え下記の通り区分している。

業界	大企業	中小企業(小規模企業を含む)	小規模企業
製造業その他の業界	「資本金3億円を超える」かつ「従業員数300人を超える」	「資本金3億円以下」または「従業員300人以下」	「従業員20人以下」
卸売業	「資本金1億円を超える」かつ「従業員数100人を超える」	「資本金1億円以下」または「従業員100人以下」	「従業員5人以下」
小売業	「資本金5千万円を超える」かつ「従業員50人を超える」	「資本金5千万円以下」または「従業員50人以下」	「従業員5人以下」
サービス業	「資本金5千万円を超える」かつ「従業員100人を超える」	「資本金5千万円以下」または「従業員100人以下」	「従業員5人以下」

注1: 中小企業基本法で小規模企業を除く中小企業に分類される企業のなかで、業種別の全国売上高ランキングが上位3%の企業を大企業として区分

注2: 中小企業基本法で中小企業に分類されない企業のなかで、業種別の全国売上高ランキングが下位50%の企業を中小企業として区分

注3: 上記の業種別の全国売上高ランキングは、TDB産業分類(1,359業種)によるランキング

■景気予測DI

景気DIの先行きを予測する指標。ARIMAモデルに、経済統計やTDB景気動向調査の「売り上げDI」、「設備投資意欲DI」、「先行き見通しDI」などを加えたstructural ARIMAモデルで分析し、景気予測DIを算出している。

【問い合わせ先】株式会社帝国データバンク データソリューション企画部 産業データ分析課
担当：窪田、池田、杉原、石井、長崎 Tel : 03-5775-3163 e-mail : keiki@mail.tdb.co.jp

©TEIKOKU DATABANK, LTD. 2021

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。